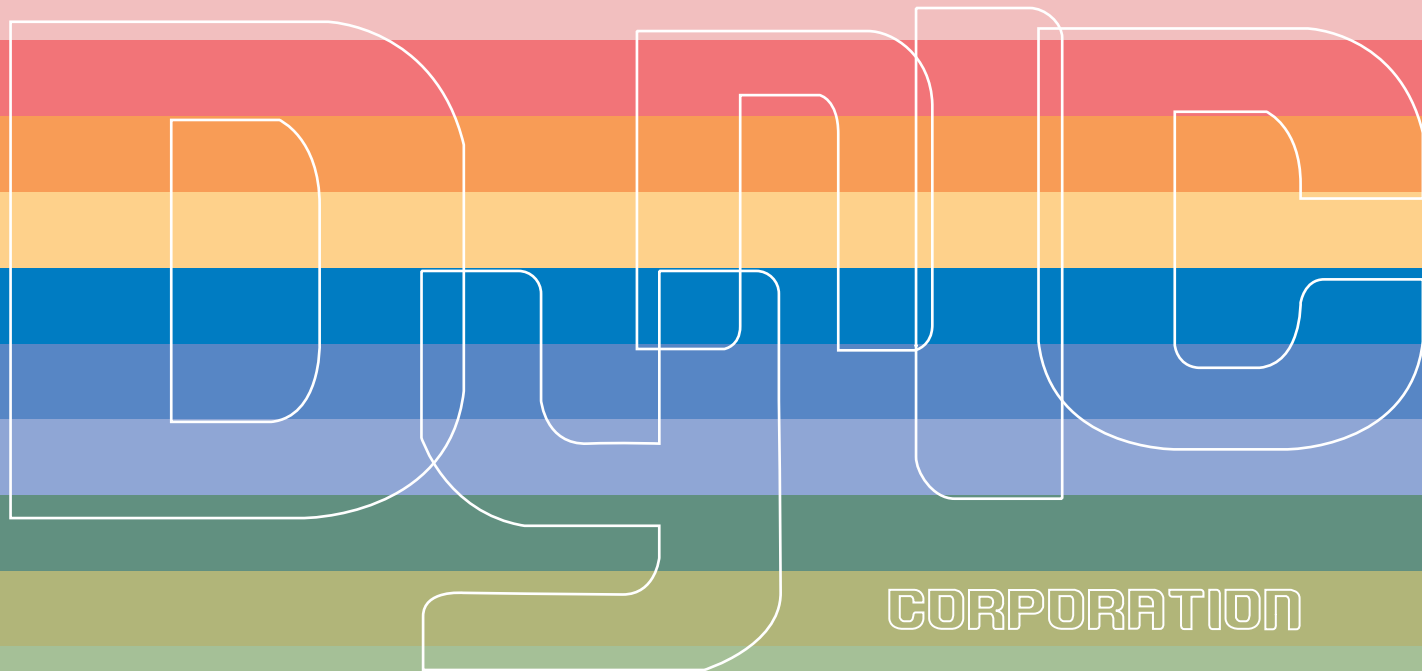


(証券コード 3551)



第153期報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日



技術の優位性 人の和

経営の理念

経営の基本方針

“For The Customer”

会社概要 (平成28年3月31日現在)

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
本社	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26 TEL 075-313-2111 FAX 075-313-2116
東京本社	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル) TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146 ホームページ http://www.dynic.co.jp
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
発行済株式総数	42,523千株
社員数	グループ合計1,402名
営業所/事業所 (グループ含む)	札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、 香港、台湾、シンガポール、米国、タイ、 英国、中国、インドネシア
工場 (グループ含む)	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、 シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア
関連会社	国内6社、海外11社
主要商品	<ul style="list-style-type: none"> ●文具紙工品用クロス ●出版用クロス ●プリンターリボン ●銀行通帳用クロス ●フィルムコーティング製品 ●磁気関連製品 ●表示ラベル用素材 ●名刺プリンタ ●有機EL用水分除去シート ●パップ剤用フィルム加工 ●壁装材 ●カーペット ●自動車内装用資材 ●各種フィルター ●不織布 ●産業用ターポリン ●接着芯地 ●各種ファンシー商品 ●食品包材 ●紙管紙器

役員 (平成28年6月28日現在)

取締役会長	細田敏夫
代表取締役社長	大石義夫
常務取締役	公文弘
常務取締役	河野秀昭
常務取締役	市川仁司
常務取締役	眞住慎也
取締役	木村博
取締役	北村圭正
取締役	小澤一雅
取締役	遠藤浩
取締役	辻正次
常勤監査役	矢部明
常勤監査役	福岡浩三
監査役	大場將弘
監査役	角倉英司

- (注) 1. 取締役のうち、辻正次氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役のうち、大場將弘、角倉英司の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第153期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第153期の業績は、売上高につきましては、印刷情報関連事業は印字媒体等で堅調に推移しましたが、出版市場で苦戦し前年を若干下回りました。住生活環境関連事業、包材関連事業、その他は前年を上回りました。利益面につきましては、印刷情報関連事業および包材関連事業が堅調に推移したこともあって営業利益では前年を上回り、連結ベースで別記のような結果となりました。

配当につきましては現状および来期以降の事業展開等を考慮して、一株当たり5円とさせていただきます。

第154期も当社グループにおいて引き続き厳しい市場環境が予想されますが、雪害から復旧し、本格稼働を開始した不織布事業の更なる拡大を目指すとともに、原価低減と商品力の強化を伴った製品開発に努めてまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長

大石 義夫



●熱転写インクリボン用 5ヘッドコーター塗装機を 埼玉工場に新設

埼玉工場に熱転写インクリボン用5ヘッドコーター塗装機を新設し、平成27年10月1日(木)に運転開始式を開催しました。従来のマシンでは複数回の投入が必要であった製品も、1回の投入で生産が可能となり、生産性の向上が見込まれます。また、同時に導入されたVOC処理施設による溶剤処理時の燃焼熱を乾燥工程に利用することで、エネルギーコストの削減も図っています。



熱転写インクリボン用5ヘッドコーター塗装機



VOC処理施設

●PT.DYNIC TEXTILE PRESTIGE 開所式

自動車資材関連を中心とした不織布材料の製造・販売を目的にインドネシアに設立したPT.DYNIC TEXTILE PRESTIGEの竣工式が平成27年10月28日(水)に開催されました。同社では、今後益々の自動車需要拡大が見込める東南アジアのシェア獲得を積極的に進めています。



竣工式でのテープカット



正面玄関

●風管用シート、 広幅対応にて受注獲得

北海道新幹線の延長工事(函館～札幌)に使用する大口径の風管用向けに、1,920mm幅の風管用シートを開発しました。従来の最大幅(1,615mm)より305mm広がったことにより、風管を製造する際の取り都合によるロスが軽減されて、作業効率が向上することが見込まれて受注獲得となりました。



トンネル工事に使用された風管

●当社製紙クロスを使用した クリスマスツリーが都内ホテル にて展示

当社製の紙クロスを使用したクリスマスツリーが、虎ノ門ヒルズ内のホテルのロビーに平成27年11月27日(金)から12月25日(金)にかけて展示されました。フランス人アーティストが手がけた紙製のクリスマスツリーは、当社と当社代理店の(株)竹尾との共同開発商品である紙クロス「ヴィンテージゴールド」が使用されています。



展示された紙製のクリスマスツリー

経営の実績 当期の概況

当連結会計年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日）におけるわが国経済は、円安・原油安等の影響による企業業績の改善、それに伴う雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続きました。しかし、一方で中国経済の減速、年初からの円高の進行等、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は41,190百万円（前期比0.3%増）となりました。利益面につきましては、営業利益797百万円（前期比21.4%増）、経常利益877百万円（前期比0.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は589百万円（前期比31.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、従来「その他」に含めておりました衣料用接着芯地事業については、管理区分を見直し、「住生活環境関連事業」に含めており、前連結会計年度との比較については、前連結会計年度のセグメント別を当連結会計年度のセグメント別に組み替えて比較しております。

また、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、出版・文具用途のクロス製品は、出版市場の縮小で上製本等の大型企画も少なく、前期比減となりました。

一方でビジネスフォームは金融機関向けを中心に堅調に推移し前期比増となりました。

印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リポンは国内・海外ともに堅調であり、前期比増となりました。

その他、有機EL用水分除去シートは海外を中心に堅調に推移し前期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は17,670百万円（前期比4.6%減）、営業利益は1,298百万円（前期比23.8%増）となりました。

■住生活環境関連事業

壁装材は、住宅着工は回復傾向となったものの、売上はほぼ前期並みの水準で推移しました。

不織布は、売上では前期比増となりましたが、埼玉工場での設備復旧が遅れたこと、家電関連や国内の自動車生産減等、市況の落ち込みも影響し、未だ雪害前の水準には戻っておりません。

産業用ターポリンは、復興関連コンテナの減少分を補う事が出来ず大幅に売上減となりました。

衣料用接着芯地は、主に中国等海外販売が低迷し、前期比減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は14,526百万円（前期比2.9%増）、営業利益は175百万円（前期比43.1%減）となりました。

■包材関連事業

食品包材・蓋材は国内向け、輸出ともに堅調に推移し、前期比増となりました。

医療用パップ剤用フィルム加工も堅調に推移し、前期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は6,164百万円（前期比5.5%増）、営業利益は209百万円（前期比65.5%増）となりました。

■その他

ファンシー商品は、手帳類の売上が好調で前期比増となりました。

商品運送・保管は堅調に推移し、前期比増となりました。

その結果、売上高は4,091百万円（前期比5.9%増）、営業利益は318百万円（前期比5.7%減）となりました。

■対処すべき課題

次期のわが国の経済は、円高や中国経済の減速による企業業績への影響が懸念されます。

当社グループにおいても為替変動による影響は少なく、先行き不透明な状況であります。

このような状況下、代替原料・設計仕様変更等、徹底した原価低減活動に努め、更なる採算性の改善を進め、収益基盤の強化に取り組んでまいります。

また、当社グループはコーティング技術を核とした複合技術の強みを活かし、要素技術を有機的に複合した製品開発、特に環境対応型の高性能・高付加価値製品、市場に対する訴求力のある製品開発に努めてまいります。

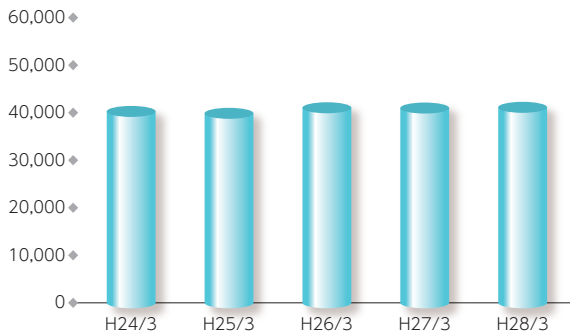
また、埼玉工場の不織布事業については、設備的にはほぼ復旧しましたので、いち早く雪害前の水準に戻れるよう取り組んでまいります。

更なるコーポレートガバナンスの強化に積極的に取り組み、企業の社会的責任を果たすとともに、内部統制の維持・向上、リスク管理体制の強化を継続的に進め、透明性の高い経営体制のもとで、ステークホルダーの皆様に対する経営責任と説明責任を果たしてまいります。

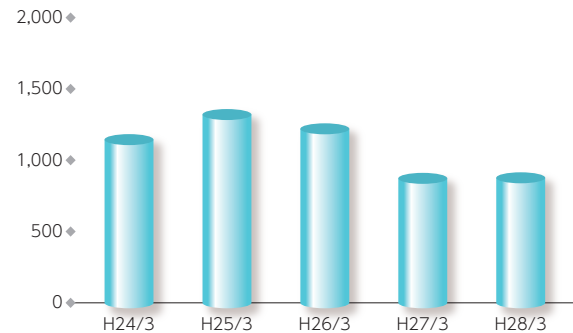
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト (連結)

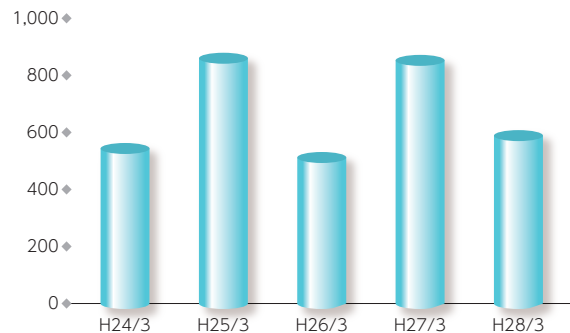
■売上高 (単位: 百万円)



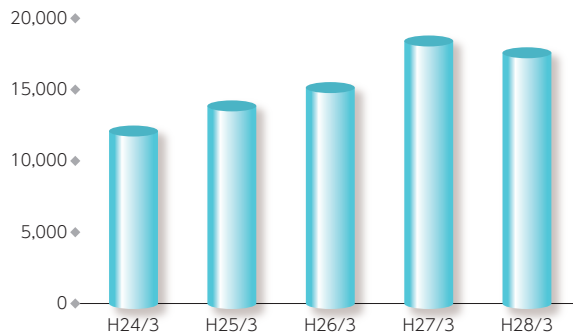
■経常利益 (単位: 百万円)



■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



■純資産 (単位: 百万円)



		平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
売上高	(百万円)	40,325	39,935	41,077	41,051	41,190
営業利益	(百万円)	1,224	1,310	1,204	656	797
経常利益	(百万円)	1,144	1,320	1,221	873	877
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	544	860	512	853	589
売上高営業利益率	(%)	3.0	3.3	2.9	1.6	1.9
純資産	(百万円)	12,100	13,856	15,139	18,403	17,582

財務諸表の概要（連結）

貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前 期	当 期
	平成27年3月31日	平成28年3月31日
資産の部		
流動資産	21,842	21,535
現金及び預金	3,469	2,960
受取手形及び売掛金	10,131	10,412
たな卸資産	7,142	7,340
繰延税金資産	606	414
その他の流動資産	599	492
貸倒引当金	△105	△83
固定資産	29,882	30,654
有形固定資産	17,549	19,413
建物及び構築物	3,089	4,406
機械装置及び運搬具	1,723	2,237
土地	10,260	10,289
その他の有形固定資産	2,477	2,481
無形固定資産	36	34
投資その他の資産	12,297	11,207
投資有価証券	8,527	7,112
繰延税金資産	224	264
その他の投資	3,644	3,930
貸倒引当金	△98	△99
資産合計	51,724	52,189

科 目	前 期	当 期
	平成27年3月31日	平成28年3月31日
負債の部		
流動負債	20,213	20,609
支払手形及び買掛金	8,437	7,732
短期借入金	8,661	10,468
未払法人税等	90	100
設備関係支払手形	619	274
その他の流動負債	2,406	2,035
固定負債	13,108	13,998
長期借入金	6,787	8,300
退職給付に係る負債	1,839	2,077
再評価に係る繰延税金負債	1,368	1,299
その他の固定負債	3,114	2,322
負債合計	33,321	34,607

科 目	前 期	当 期
	平成27年3月31日	平成28年3月31日
純資産の部		
株主資本	12,685	13,060
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	5,974	6,351
自己株式	△30	△32
その他の包括利益累計額	5,439	4,270
その他有価証券評価差額金	2,482	1,675
土地再評価差額金	2,729	2,799
為替換算調整勘定	99	△25
退職給付に係る調整累計額	129	△179
非支配株主持分	279	252
純資産合計	18,403	17,582
負債・純資産合計	51,724	52,189

損益計算書

(単位：百万円)

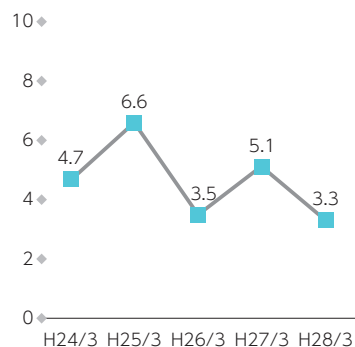
科目	前 期 平成26年4月1日～ 平成27年3月31日	当 期 平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
売上高	41,051	41,190
売上原価	33,731	33,642
売上総利益	7,320	7,548
販売費及び一般管理費	6,664	6,751
営業利益	656	797
営業外収益	671	541
営業外費用	454	461
経常利益	873	877
特別利益	2,420	193
特別損失	2,360	70
税金等調整前当期純利益	933	1,000
法人税、住民税及び事業税	185	194
法人税等調整額	△91	245
当期純利益	839	561
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△14	△28
親会社株主に帰属する当期純利益	853	589

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前 期 平成26年4月1日～ 平成27年3月31日	当 期 平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,910	△625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,866	△2,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	339	3,008
現金及び現金同等物に係る換算差額	74	△14
現金及び現金同等物の増減額	457	△360
現金及び現金同等物の期首残高	2,614	3,071
現金及び現金同等物の期末残高	3,071	2,711

自己資本当期純利益率 (単位：%)



株式の状況

会社の株式に関する事項 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数 **150,000,000株**
 発行済株式総数 **42,523,735株 (自己株式144,109株を含む)**
 株主数 **3,453名**

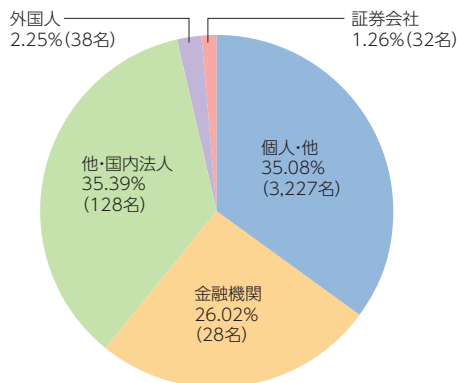
当社の大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ニックグループ持株会	2,076	4.90
株式会社良品計画	1,298	3.06
三井住友海上火災保険株式会社	1,211	2.85
株式会社ヤクルト本社	1,034	2.43
株式会社三井住友銀行	1,000	2.35
みずほ信託銀行株式会社	1,000	2.35
住友不動産株式会社	987	2.32
株式会社滋賀銀行	960	2.26
株式会社武蔵野銀行	960	2.26
オー・ジー株式会社	863	2.03

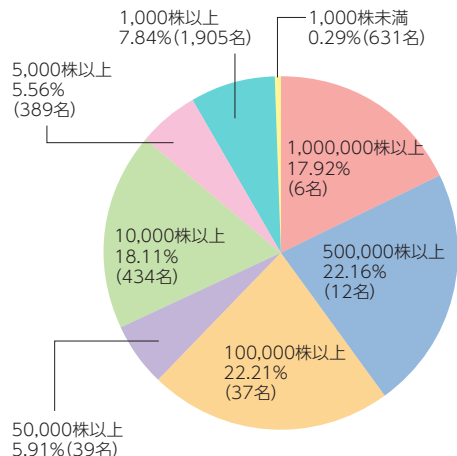
(注) 持株比率は自己株式 (144,109株) を控除して計算しております。

分布状況

所有者別



所有数別



ダイニックグループ (平成28年3月31日現在)

(国内)	(海外)
ダイニック株式会社	台湾科樂史工業股份有限公司
ダイニック・ジュノ株式会社	NC STAFLEX CO.,PTE.,LTD.
大和紙工株式会社	DYNIC (H.K) LTD.
ニックフレート株式会社	DYNIC USA CORP.
ダイニックファクトリーサービス株式会社	THAI STAFLEX CO., LTD.
オフィス・メディア株式会社	DYNIC (U.K) LTD.
大平産業株式会社	大連大尼克辦公設備有限公司
	昆山司達福紡織有限公司
	達妮克國際貿易(上海)有限公司
	TPCNIC CO.,LTD.
	PT.DYNIC TEXTILE PRESTIGE

本社および事業所 (グループ含む)

京 都 本 社	京都市右京区西京極大門町26 〒615-0812 TEL (075) 313-2111
東 京 本 社	東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル) 〒105-0004 TEL (03) 5402-1811
王 子 分 室	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-9333
大阪支社営業所	大阪市中央区南船場2-5-12 (クリスタファイビル) 〒542-0081 TEL (06) 6262-3010
名古屋支社営業所	名古屋市中区葵3-15-31 (千種ニュータワービル) 〒461-0004 TEL (052) 979-2370
札幌営業所	札幌市白石区中央三条4-3-47 〒003-0013 TEL (011) 825-1344
福岡営業所	福岡市博多区東光2-20-22 〒812-0008 TEL (092) 451-9232
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字多賀270 〒522-0341 TEL (0749) 48-1717
埼玉工場	埼玉県深谷市内ヶ島500 〒366-0831 TEL (048) 572-3311
王子工場	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-0171
富士工場	静岡県富士市宇東川西町1-2 〒417-0854 TEL (0545) 52-3885
真岡工場	栃木県真岡市松山町16 〒321-4346 TEL (0285) 82-4121

2016年2月に技術紹介ページをリニューアルしました。

是非ご覧ください。

<http://www.dynic.co.jp>



■ 企業情報

社長メッセージの他、コーポレートガバナンスに関する報告書、中期経営目標、会社概要などがご覧になれます。

■ 製品情報

当社の製品を市場別にご紹介しております。

■ 要素技術

当社のある要素技術の中から、5つの特徴的な技術をご紹介します。

■ IR情報

期別に決算短信や四半期報告書などのIR情報をご覧になれます。

■ 採用情報

新卒採用ページを外部リンクでご紹介しております。

■ 環境への取組み

当社環境基本方針や環境報告書などがご覧になれます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会の基準日	
定時株主総会	3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行なう場合は9月30日）
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店 舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱でき ませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※) およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行なっていただく必要があります。

上場証券取引所	東京
証券コード	3551
公告方法	当社のホームページ (http://www.dynic.co.jp) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。



〒105-0004
東京都港区新橋 6-17-19 (新御成門ビル)
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。